フードバンク新聞

8月 6日（金）
学校名
（向小金小学校）
4年 2組
記者名
（　　）

フードバンクって何だろう？

食品ロスとの関係。

みなさんはフードバンクというものを知っていますか。フードバンクはまだ食べられるのに捨てられてしまう食品ロスという問題をなくすために行われている活動のひとつです。フードバンクは寄付された食品とその食品を必要としている人をつなぐ団体のことです。

みなさんは「自分はそんなことしていないよ」と思っているかもしれませんが、日本では一人あたり一年に約四十七キログラム、一人あたり一日に約百三十グラム、つまりおちゃわん一ぱい分の食品ロスをしているのです。

また、フードバンクに来る食品の量は一年に四十トン・それは大きく三つに分けられます。一つ目は約半分の二十トンの食品ロス。捨てられる商品はメーカー、生産者、小売店、自治体から来やすいものは非じょう食です。次は約十七トンの寄付です。わたされやすい所は慈善団体、生協個人の方です。寄付なので個人でもできます。最後はフードドライブ。三トンです。わたされやすいところは市役所、生協、公共施設おみせなどが実施しています。家庭からも来るそうです。

とうかつ草の根フードバンクの活動とは？

～子ども食堂とのつながり～

フードバンクが行なっている活動を二つしょうかいします。

十つ目は「ちょうみきげんのきげんの長さで種類ごとに分ける活動です。種類ごとに「もうすぐきげんが切れそう」なものと「まだまだ大丈夫」、「あと一年後くらい」、「きげんぎれ」のものに分けられます。そして、「まだ使える」ものは「直」接手渡しで必要とする家庭に渡すか、支援団体を通してわたしますがきげんが切れたものはざんねんですがすてることになります。

二つ目は寄贈された食品を子ども食堂を通して地域で必要としている家庭へ届けている、ということです。とうかつ草の根フードバンクでは企業からの大量の寄贈品をまとめて保管している倉庫に約十カ所の子ども食堂が食品を取りにくるめずらしい形のフードバンクです。

分けた時の写真（二つ目）

ちょうみきげん（一つ目）

フードバンクで働く理由とは？

フードバンクの方にきいてみた。

人の役に立ちたいからです。
仲間とやると楽しいし、大変だけどやりがいがあるからです。

フードバンクの方

co-op コープデリ
コープみらい
食卓を笑顔に、地域を豊かに。